

決算報告書

第3期

自 2025年4月1日
至 2026年3月31日

パーソル&サーバーワークス株式会社

貸借対照表

(2026年3月31日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	594,296	流動負債	176,361
現金及び預金	15,007	未払金	52,528
売掛金	100,924	未払費用	7,159
契約資産	1,393	未払法人税等	5,342
貯蔵品	2	未払消費税等	64,086
前払費用	8,284	預り金	2,203
短期貸付金	467,968	賞与引当金	45,042
未収入金	461	固定負債	6,443
その他	255	役員株式給付引当金	5,438
固定資産	8,546	繰延税金負債	242
有形固定資産	196	資産除去債務	762
工具器具備品	196	負債合計	182,804
無形固定資産	6,739	(純資産の部)	
ソフトウェア	6,739	株主資本	420,038
投資その他の資産	1,610	資本金	450,000
長期前払費用	1,610	資本剰余金	450,000
		資本準備金	450,000
		利益剰余金	△ 479,961
		その他利益剰余金	△ 479,961
		繰越利益剰余金	△ 479,961
		純資産合計	420,038
資産合計	602,842	負債・純資産合計	602,842

損益計算書

(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

科 目	金 額	
売上高		830,040
売上原価		513,960
売上総利益		316,080
販売費及び一般管理費		336,070
営業利益		△ 19,990
営業外収益		
受取利息	3,852	
雑収入	199	4,051
経常利益		△ 15,938
税引前当期純利益		△ 15,938
法人税、住民税及び事業税	1,338	
法人税等調整額	△ 190	1,148
当期純利益		△ 17,087

個別注記表

パーソル&サーバーワークス株式会社

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準および評価方法

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品……………最終仕入原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産……………定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 1年

工具器具備品 5年

(2) 無形固定資産……………定額法を採用しております。

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。

(2) 役員株式給付引当金

株式報酬制度に基づく当社取締役への株式交付に備えるため、当事業年度末における株式給付債務の見込額に基づき計上しております。

4. 収益の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益について、以下のステップを適用することにより認識しております。

ステップ1：顧客との契約を識別する。

ステップ2：契約における履行義務を識別する。

ステップ3：取引価格を算定する。

ステップ4：取引価格を契約における履行義務に配分する。

ステップ5：履行義務の充足時に（又は充足するにつれて）収益を認識する。

なお、各事業の収益認識の詳細は、「収益認識に関する注記」に記載しております。

5. 資産除去債務の会計処理

不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務に係る資産除去債務について、原状回復費用を資産除去債務として負債計上し、これに対応する除去費用を有形固定資産に含めて償却しております。

6. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式です。